

# 米ノ津中学校いじめ防止基本方針

## 【学校教育目標】

社会貢献の志をもち、自己実現に向けて前進する生徒の育成  
【校訓：自主・向学・友愛・健康】

## 家庭・地域との連携

- 学校関係者と地域、家庭との連携対策の推進 ※いじめ防止対策推進会議の開催
- 学校と地域、家庭の組織的な連携・協働体制の構築

## いじめ防止対策推進委員会

【目的】いじめを未然に防止し、いじめまたはその兆候を早期に発見し、いじめに関する事案に対処して、学校組織としてその解決を図る。

### 【組織構成】

管理職、教務主任、生徒指導主任、保健主任、養護教諭、心の教育相談員、自立支援教室相談員等、また必要に応じて他の教職員も参加できる。

## 関係機関等との連携

- 関係機関（警察、児童相談所、医療機関、市こども課、法務局等）との適切な連携
- 教育相談における医療機関などの専門機関との連携
- 法務局など、学校以外の相談窓口の適切な連携

- 教育活動の重点【知】
  - 1 確かな学力の育成
    - ア 学力調査3ポイントアップを目指した「わかる授業」の実践
    - イ 目標の明確化・山場の工夫・終末の振り返り
    - ウ 基礎・基本の確かな定着を図るためのワークショップ型研修の推進
    - エ 問題解決的な学習とスパイラルな学習の指導による学力向上
    - オ 予習・授業・復習のサイクルを生かした家庭学習の充実
    - カ 小・中・高連携を図った学習指導の充実
  - 2 豊かな人間性の育成【徳】
    - ア 構成的グループエンカウンターを活用した人間関係づくりの構築やいじめ問題への組織的対応
    - イ 不登校対策や問題行動等の解消を目指した生徒指導組織の機能的運用
    - ウ 全教育活動を通じた「命の教育」の実践（「命」について考える週間の充実）
    - エ 道徳の時間の充実を図り、全教育活動を通じた道徳教育の徹底
    - オ 「場を清め、礼を正し、時を守る」の精神に基づく教育活動の充実
  - 3 健康・体力の向上【体】
    - ア 危険予知・危険回避能力の育成（実践的な避難訓練、施設設備の管理）
    - イ 健康管理意識の高揚
    - ウ 食育、眠育の推進
    - エ 体力・集中力・忍耐力の向上
    - オ 整然とした教育環境の整備と機能化
- めざす生徒像
  - 自主：自ら考え、自分を律しながら見通しをもって行動する生徒
  - 向学：問いをもち、粘り強く考え、確かな技術・技能を身につける生徒
  - 友愛：誠実で思いやりがあり、人権尊重の意識の高い生徒
  - 健康：自己管理に努め、心身ともに健康でたくましい生徒

## いじめ防止の取組

- ① 教職員の取組
  - いじめ防止対策委員会の定期的開催
  - 授業力向上
  - 道徳・構成的グループエンカウターの充実
  - 定期的な職員間の情報交換
  - 職員研修での事例研究等の実施
  - いじめ問題の取組を保護者・地域へ発信（啓発・協力要請）
- ② 生徒の取組
  - 生徒主体組織「Bullying ZERO」の編成・活動
  - いじめをなくそう宣言の採択
  - いじめ防止標語の作成
- ③ 保護者の取組
  - PTA総会・学年・学級PTAにおける講話

## いじめの早期発見

- ① 教職員の取組
  - いじめ防止対策委員会の定期的開催
  - 定期的な職員間の情報交換
  - 教育相談・チャンス相談の実施
  - 実態把握アンケートの実施・分析
- ② 生徒の取組
  - 生徒会や「Bullying ZERO」によるアンケートの実施
- ③ 保護者の取組
  - 相談体制の確立
  - いじめのサイン発見シートの活用

## いじめに対する措置

- ① 教職員の取組
  - 緊急いじめ防止対策委員会の開催
  - 警察等関係機関・教育委員会との連携
  - 事案に係る指導方針の決定と具体的な取組の提示・周知
  - 専門的知識を有する者との連携
  - 家庭との連携
  - サポートチームの対応策検討
  - 緊急のいじめ防止プログラム・人間関係づくりプログラムの実施、生命尊重の教育の充実
- ② 生徒の取組
  - アンケートの実施
- ③ 保護者の取組
  - 家族の語らいの確保と学校との密な連携

- 生徒指導体制
  - 1 基本的な生活習慣の確立
  - 2 規律ある学校生活を通じた規範意識の育成
  - 3 よい人間関係づくりと望ましい集団の育成によるいじめ未然防止の徹底
  - 4 不登校生徒や問題行動傾向のある生徒への計画的・積極的な指導
  - 5 心の教室相談員・SC・SSWとの連携
  - 6 学校ネットパトロール事業 検索結果の活用
- 教育相談体制
 

目的

  - 1 治療的な相談
  - 2 予防的な相談
  - 3 開発的な相談

体制

  - 1 定期教育相談
  - 2 チャンス相談
  - 3 関係機関と連携した相談
- 職員研修の重点
  - 1 構成的グループエンカウターの充実
  - 2 学力向上のための授業改善
  - 3 「学校楽しいーと」「SNSチェックシート」の活用の在り方

## 【年間計画】

月	計画及び評価	実態調査	各教科・道徳・特別活動等	児童会・生徒会	情報モラル関連	教育相談	職員研修
4月	年間及び1学期の活動計画の検討 取組評価アンケートの作成	・学校生活アンケート	「命について考える週間」「いじめ問題を考える週間」実施 道徳(共通主題「生命尊重」)	いじめ撲滅宣言 生徒総会	各教科における指導計画の確認 ネットモラル講演会	個別面談 家庭訪問	生徒指導事例研修 学校基本方針の確認
5月	実態に基づいた対応策の検討	・学校生活アンケート		いじめ標語	生徒(全体指導)	個別面談	具体的な対応の在り方 家庭との連携の在り方 ネットいじめ等の対応
6月		学校楽しいーと SNSチェックシート				個別面談	
7月	取組評価アンケートの実施	(県)いじめアンケート 保護者アンケート	道徳(共通主題「おもいやり」)		携帯ネット利用実態調査	三者面談	
8月	取組評価アンケートの集計及び検証 2学期の活動計画の検討	・学校生活アンケート (出校日)					取組評価結果から
9月	実態に基づいた対応の検討	・学校生活アンケート	「命について考える週間」「いじめ問題を考える週間」の実施 道徳(共通主題「集団生活の向上」)				
10月		・学校生活アンケート					具体的な対応の在り方
11月		学校楽しいーと SNSチェックシート		命の標語		三者面談 個別面談	
12月	取組評価アンケートの実施 取組評価アンケートの集計及び検証	保護者アンケート (県)いじめアンケート	道徳(共通主題「友情・信頼」)		生徒(全体指導)		取組評価結果から 具体的な対応の在り方
1月		・学校生活アンケート	「命について考える週間」「いじめ問題を考える週間」の実施	ネット標語	保護者(啓発活動)		家庭との連携の在り方
2月	取組評価アンケートの実施・集計	学校楽しいーとの活用	道徳(共通主題「自他の尊重」)			個別面談	
3月	取組検証及び次年度活動計画策定	・学校生活アンケート			生徒(全体指導)		取組評価結果から

## ◆いじめ未然防止及び早期発見に向けた、日々の取組（教職員は毎日、これだけは欠かさず実践します。）

毎朝、生徒の登校状況を見守り、毎夕、生徒の下校状況を確認し、教師自ら積極的に生徒に声かけします。  
生徒の表情や様子から本人の日々の状況把握に努めます。  
授業中、休み時間など全教育活動を通して、生徒の様子や変化について気を配ります。  
生徒の様子など、気になったら保護者連絡や家庭訪問に努めます。  
いじめを発見したら、保護者・地域の協力を得て、全職員で対応します。